

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



梅雨明け後の気象予報



- 県内における今年の梅雨期は、6月中は雨天が続きましたが、7月に入り、少雨の傾向にあります。
- 6月に発表された**3か月予報**によると今後は平年より**高温で降水量もやや多い**とされています(図)。
- 温暖化による猛暑の傾向には変わりません。**かん水の実施**や果実の**日焼け対策**を丁寧に行いましょう。
- 降水量も多いと予想されているので、**夕立**や**台風**の襲来も考えられます。
- **排水対策**や**暴風雨対策**等の出来ることは早めに行っておきましょう。

気温	07月~09月	20	40	40
	07月	30	30	40
08月	20	30	50	
09月	20	40	40	
降水量	07月~09月	20	40	40
	07月	20	40	40
	08月	30	40	30
	09月	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

図. 気温、降水量の各階級の確率(%)
(関東甲信地方、気象庁6月20日発表)



殺ダニ剤の適期散布を



- 高温乾燥条件では**ハダニ**の発生が懸念されます。
- 葉裏の被害部は、**滲んだように褐色化**します(図)。
- 果粒表面は、吸汁により**かすり状の褐色斑点**が生じます(図)。
- ハダニの発生が見られる場合は、指導機関と相談しながら、適切な**殺ダニ剤**を選択し、早期防除をお願いします。



図. ハダニによる葉および果粒への被害状況
(シャインマスカット、果樹病害虫サポートシステム)